

非行少女 (1963)

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 B&W
時間 114分
初公開日 1963/03/17

【解説】

森山啓の『青い靴』（雑誌発表時のタイトルは『三郎と若枝』）を石堂淑朗と浦山桐郎が脚色し映画化。浦山桐郎にとっては「キューポラのある街」に続く第2作で、主演の和泉雅子の演技が高い評価を受けた。

二十一歳の三郎と十五歳の若枝が映画館の前で再会した。三郎は仕事に失敗して職安通い、若枝は酔ってバーの女給のハイヒールを盗み出していた。若枝は酒飲みの父と冷たい継母に嫌気がさして、家を飛び出したのだという。三郎は彼女に勉強を教えてやり、二人の距離は急速に縮まっていく。盗んだハイヒール代をたてに、不良の竜二に襲われそうになった若枝は、学校に忍び込み金を盗んだ。三郎は竜二から金を脅し取られた上、若枝の盗みについても知らされ、彼女ことが信じられなくなってしまう。

【クレジット】

監督 浦山桐郎
原作 森山啓
脚本 石堂淑朗
浦山桐郎
撮影 高村倉太郎
音楽 黛敏郎 Toshiro Mayuzumi
出演 浜田光夫
和泉雅子
小池朝雄
香月美奈子
小沢昭一
小夜福子
杉山俊夫
小林トシ子
北林谷栄